

静岡生まれ・山田長政が主人公の歴史活劇 コロナ禍中断以来5年ぶり再演
SPAC 秋→春のシーズン 2024-2025 #3

『メナム河の日本人』

プレス関係各位

平素より、SPAC-静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

SPACでは、今年度の「秋→春のシーズン」を締めくくる作品として、静岡出身の快男児・山田長政を描いた遠藤周作の戯曲『メナム河の日本人』を上演いたします。本作は2020年2月に初演されましたが、コロナ禍により公演中断。俳優として様々な舞台で活躍する今井朋彦が演出を務め、一部キャストを変更して5年ぶりの再演を果たします。

■ 義のため、利のため、「理想の国」を追い求めた人間たちの物語

山田長政は江戸時代のはじめ、駿河国(静岡)の籠担ぎから己の才覚のみを頼りにアユタヤ王朝(タイ)にわたり、貿易商や日本人傭兵部隊の隊長として重用されるまでに登り詰めた人物です。その波乱万丈の生涯を、キリスト教文学で知られる作家・遠藤周作は壮大な歴史活劇として鮮やかに描く一方、神父・ペトロ岐部との邂逅を創作し、自らの抱える「日本人」と「信仰」の問題を織り込みました。山田長政とペトロ岐部の対比は、その後発表された小説『銃と十字架』、『王国への道』でも繰り返して描かれています。

演出を手掛けるのは、俳優としても長いキャリアを持ち、近年演出家としても精力的に活動する今井朋彦。SPACでは『わが町』(2010年・13年)に続き、本作においても手練のSPAC俳優13名の持ち味を存分に引き出し、実直な演出で古今東西変わることもない人間の業を浮かび上がらせます。大量の布で構成された美術は、舞台上で繰り広げられる人間の栄枯盛衰を一層際立たせ、総合芸術としての演劇の醍醐味を存分に味わえる作品となっています。

■ 山田長政役に静岡出身のbaleを新たに起用、地域との関連企画も

今回の再演では、山田長政役に浜松市出身の俳優baleを起用。baleは、SPACには23年『人形の家』(演出:宮城聰)から参加、俳優のほかPRコンテンツ・イベントプロデューサー、振付家など様々な顔を持ち、本作が初めての主演作となります。昨年10月には、静岡市・浅間通り商店街で毎年開催されている「日・タイ友好 長政まつり」にMCとして登場。本作の衣裳を身にまとい、現代によみがえった“山田長政”が戦艦図絵馬奉納行列や餅まき企画にも加わり、イベントを盛り上げました。公演期間中の劇場1階ロビーには、静岡浅間通り商店街振興組合からお借りした「長政奉納戦艦図絵馬」や紹介パネルを展示します。また、タイ国政府観光庁のご協力で、タイの民族衣装や伝統工芸品「プラー・タピアン」などを展示しているほか、市内に複数ある山田長政ゆかりの地をめぐるオンラインスタンプラリーも実施中です。地域と密接に結びついた取り組みを通じて、山田長政という歴史的人物への理解を深め、静岡とタイの友好の歴史を再発見する機会を観劇と合わせてお届けします。

演出:今井朋彦
SPAC

作:遠藤周作
メナム河の日本人

The Menam River Japanese
Directed by IMAI Tomohiko
Written by ENDŌ Shūsaku
Produced by SPAC
At Shizuoka Arts Theater

2025年1月18日(土)・19日(日)
2月15日(土)・16日(日)
3月1日(土)・2日(日) 各日14時開演
会場:静岡芸術劇場(グランシップ内)
一般:2,000円 U25:学生割引:2,000円
SPACチケットセンター(054-202-3399)
TEL:054-202-3399
https://spac.or.jp/

SPAC 秋→春のシーズン2024-2025 #3

メナム河の日本人

演出:今井朋彦 作:遠藤周作

出演:

阿部一徳、大内智美、大高浩一、加藤幸夫、小長谷勝彦、佐藤ゆず、たきいみき
布施安寿香、bale、三島景太、山本実幸、吉植荘一郎、渡辺敬彦 [五十音順]

上演時間:2時間15分 日本語上演・英語字幕

■公演日・関連企画

- 1月18日(土) アーティストトーク(ゲスト:遠藤龍之介氏)
 - 1月19日(日) はじめての演劇鑑賞講座、バックステージツアー
 - 2月15日(土) 県立清水南高校演劇専攻生による関連企画
 - 2月16日(日) //
 - 3月 1日(土) アーティストトーク(ゲスト:宮辺尚氏)
 - 3月 2日(日) はじめての遠藤周作講座、バックステージツアー
- 各日14:00 開演

■会場 静岡芸術劇場(グランシップ内)

▼公演情報



チケット料金 (税込/全席指定) <好評販売中!>

一般: 4,200円
U25・学生割引:
[25歳以下および大学生・専門学校生] 2,000円
[高校生以下] 1,000円 * そのほか各種割引あり

チケットお取り扱い

SPACチケットセンター
電話予約 **054-202-3399**
窓口販売 静岡芸術劇場チケットカウンター
(電話・窓口受付時間: 10:00~18:00, 休業日1/20・2/13を除く)
ウェブ予約 <https://spac.or.jp/ticket>

中高生鑑賞事業公演「SPACeSHIP!げきとも!」

SPACでは「劇場は世界を見る窓である」という理念のもと、平日には静岡県内の中学生・高校生を対象とした招待公演を行っています。『メナム河の日本人』では**37校・5,307名**の中高生が**来場予定です**。一般の方がお入りいただける日程もございます。詳細は公式サイトにて/1月15日(水)~3月7日(金) 計26公演

関連企画

●プレトーク

一般公演日の開演25分前より、2Fカフェ・シンデレラにて。舞台をよりおもしろく観劇できるポイントをご紹介します。

●カフェ・シンデレラで逢いましょう!

終演後は、出演者が舞台衣裳でお見送りに登場します! 写真撮影など俳優との交流をお楽しみください。

●バックステージツアー

終演後にSPAC創作・技術部スタッフが舞台裏を解説。

1月19日(日)、3月2日(日)

所要時間: 約30分 参加無料/要予約 定員40名

●はじめての〇〇鑑賞講座

▶ はじめての演劇鑑賞講座 1月19日(日) 12:30~13:30

演劇初心者の方に向けて、SPAC俳優・永井健二が見所を観劇前にレクチャーいたします。観劇が初めてでない方もご参加いただけます。

▶ はじめての遠藤周作講座 3月2日(日) 12:30~13:30

SPAC文芸部の大岡淳が観劇前に、戯曲の作者である遠藤周作の魅力をご紹介します。

●アーティストトーク

終演後にトークを開催。参加無料/予約不要

▶ 1月18日(土)終演後

遠藤龍之介氏が語る 父・遠藤周作の文学的遺産

ゲスト: 遠藤龍之介氏

—1956年生まれ、作家・遠藤周作氏の長男。株式会社フジテレビジョン取締役副会長、一般社団法人日本民間放送連盟会長。

登壇: 今井朋彦(演出家)

司会: 宮城聡(SPAC芸術総監督)

▶ 3月1日(土)終演後

宮辺尚氏が語る 劇団『樹座』と遠藤周作の演劇世界

ゲスト: 宮辺尚氏

—1946年生まれ。大学卒業後、新潮社にて30年間文芸編集者として遠藤周作をはじめ多彩な作家を担当。2024年7月、河出書房新社より『遠藤周作と劇団樹座の三十年』を発表。

登壇: 大内智美、布施安寿香(出演俳優)

司会: 宮城聡(SPAC芸術総監督)

【実施中】山田長政ゆかりの地を巡るスタンプラリー

本作の主人公・山田長政は静岡市生まれ。静岡県公式観光アプリTIPSを用い、市内にいくつかある長政ゆかりの地を巡るスタンプラリーを実施中。景品はオリジナル葵煎餅。

共催: 静岡市歴史博物館

協力: 静岡大学 地域創造学環 アート&マネジメントコース



【実施中】【静岡県内図書館コラボ・企画展示】

作家・遠藤周作 小説のことはば/戯曲のことは

県内各地の図書館にご協力いただき、企画展示を開催中。

<中部> 静岡市中央図書館、静岡市立清水興津図書館
藤枝市立駅南図書館

<西部> 浜松市中央図書館、掛川市立中央図書館

<東部> 沼津市立図書館、三島市立図書館、富士市立中央図書館
函南町立図書館

主催・製作: SPAC-静岡県舞台芸術センター

ふじのくに芸術祭共催事業

後援: タイ国政府観光庁、静岡市、静岡市教育委員会

静岡日タイ協会、静岡浅間通り商店街振興組合

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金

(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会



▲2020年初演時の舞台写真



▲24年10月浅間通り商店街で開催された「日タイ友好 長政まつり」に長政役のbalebほか俳優が参加

